

The JIMMIN-SHIMBUN
(The people's newspaper published every ten days)

■ The JIMMIN SHIMBUN
■ 1-11-19 2F
■ Nishi-Awaji, Higashi-
Yodogawa-Ku, Osaka, Japan
■ TEL 06-815-1689

■ Subscription:
■ One year 10,000Yen
■ (include air mail
postage)

人民新聞

1996年 1月5日 通巻898号

1968年12月12日第三種郵便物認可5.15.25日発行

発行所 人民新聞社

1部150円 購読料半年間3000円

本社 大阪市東淀川区西淡路1-11-19 2F
Tel (06)815-1689 Fax (06)815-2496

振替口座00950-4-88555

東京多摩支局

立川市堀崎町3-6-3風林舎内



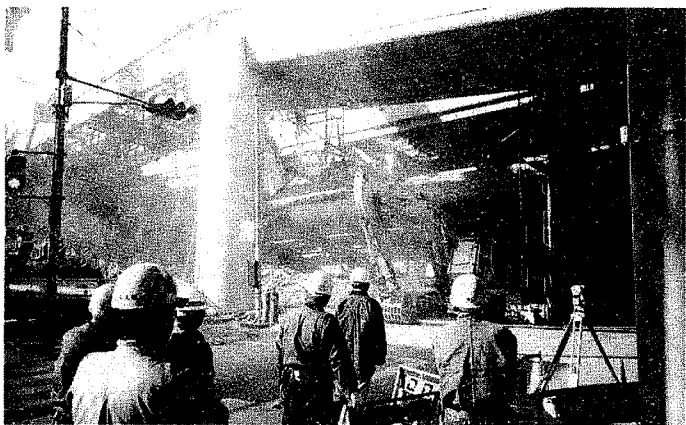
1996年 新春

大切な人を失った人がいる。身心の健康を、家を、職を失った人がいる。困難を背負って生きてきた人ほど震災による困難を多く引き受けている現実。町の空気は重い。震災直後の数ヶ月、助け合いがあり道端で誰とも話さず鬱陶しさがあがり、一〇〇万人のボランティアが存在した。寄せられた義援金から国民の半数以上が救援に係わったと推定される。既成の価値感では説明し難い体験の累積と価値感の変化があった。ここから競争と効率の社会に對し生命を尺度の中心にする社会を展望する可能性があった。▼「復興」という言葉が広がるにつれ、「被災者の甘え、我儘」との声も大きくなっていった。「思い出したくない」というセリフがいつのまにか「見て見ぬふりの自分」を正当化していった▼ニュータウンの自治会は仮設住宅が建つに際し「警察のパトロールを増やせ」と行政に要望した。事実、神戸の町の治安は乱れていたが、それを仮設住宅と結びつける人間の偏狭さを思った。社会的倫理感の喪失▼市議選でもこの壁は厚かった。利益をやりとりする後援会は地震でも潰れることなく健在だった▼少数が絶えずいじめの対象になり、倫理感を捨てることで多数が形成される構造の社会が改めて見えてきた。農林水産業も今や少数派である。「仮設の子」も少数である。繰り返して「生命を基礎にした倫理感の回復」という道すじを模索していきたいと思う。(一)

日米安保・地位協定が、戦後五〇年を経て制度疲労を起こし、米兵少女暴行事件をきっかけとした沖縄民衆の反乱で破断されようとするその時、権力側に隠されていた牙、破防法がオウム事件に誘導されて頭をもたげた▼出口の見えない長期不況と失業の拡大、政・官・財の腐敗と教育の荒廃、国民不在の政権ならいまいわし、政治不信と社会不安を土壌とする平成ファシズムの条件は次第に成熟の段階に達しつつある▼どう考えても一・龍一・六ともいえる旧自民創生会(下派)の内ゲバ抗争に池田大作・創価学会がからんだ政・宗戦争は政治的内乱、ファシズム誘導のきっかけになるのかも知れない▼破防法はオウム事件だから仕方がないと思う世論の大勢こそファシズムを誘導する大敵である。民主的な政治結社、政治活動の自由を敵対する戦前の治安維持法も、戦後の破防法もこれを誘導したのは共産党の極左主義であった。今では共産党は右旋回して牙を抜かれ、代わってオウムが眠っている破防法の目を覚ました▼一九五二年、この破防法反対の政治ゼネスト(参加人員二七〇万人、スト一八九万人労働者発表)を打った旧総評・社会党(左派)が破防法の執行権の片棒をかつぐとは、歴史の皮肉である(F)

茶番劇其の1。「エー、正月の休みに熱慮を重ねて、決断いたしました」。ウソコけ。総選挙の回避と住専処理への世論の追及をかわして政権の片隅にしがみつくために、武村や橋本と「熱慮を重ねて」トンスラこくタイミングをはかっていたくせに▼茶番劇其の2。「まず、国民の理解を得るために、責任の所在も含め出来る限りの情報の公開を」。ヨイ言うなあ。そもそも、バブルに浮かれて不動産に手当たり次第に金をつぎ込む住専を総量規制の枠からはずしたのは、どこの誰だったのか。責任追及するならまず己が辞めてあたりまえ▼茶番劇其の3。「はからずも、この非常に厳しい時に大蔵大臣を拝命いたしました」。ヨイシャーシャー言えるナ。大臣にならなくて、なりたくて、ウズウズ。誰もがその任務の厳しさを予想して尻込みしている時代に、下品な笑いをかみ殺して大蔵大臣になったのを喜んでるのは、誰にでも判るのに▼茶番もこうも幼稚で見えすいてくるとヘキエキする。今年もまた、政治の茶番は繰り返され、政治は薄汚れた虚構の世界になり下がる▼生をかけ、今日も闘い続けている世界の人達に、必ず、この国にも生き生きとした人々の政治を創り出すことを誓う。今年もまた。(M)

地震によって住民も専門家も変わった 変わらないのは議員と役所



阪神高速・高架線復旧に「待った！」

「私は大震災の戦犯のようなものだ」——「ひょうご創生研究会」(以下、創生研)の議論なかで自己批判の音が聞かれたという。「今回の地震がこれほど大きな災害になったのは、これまでの都市づくりの問題があったからだ。復興は過去の都市づくりへの反省から出発しなければならぬ」。ここから創生研は出発したという。震災から一年。被災地の人々はそれぞれの立場で震災を受けとめ、震災と闘ってきた。そしてそれは生活再建と同時に新しいまちづくりへの挑戦でもあった。震災以前からスローガンとしては語られてきた「住民主体の街づくり」「自律分散型社会の構築」といった理念が被災地では実践段階に入り、この理念が受け入れられる土壌が生まれている。

ひょうご創生研究会

創生研は、震災直後に結成準備を始め、二月三日に発足した。参加者は、被災地の学者・研究者を中心とした四十四名。会長の新野幸次郎氏(元神戸大学学長)をはじめ兵庫県や神戸市などの行政ブレンとして神戸の街づくりにかかわってきた人々も多い。新野氏は兵庫県の震災復興計画策定委員会の委員長であり、神戸市の復興計画策定諮問機関のトップも努めた。

兵庫県医師会 「公的資金で個人援助」を要望

一月十日、「生活、営業、住宅の再建に公的支援の拡充を」というアピールが発せられた。発起人が重要である。兵庫

て都心の高架高速道路を撤去し、跡地空間を活用すべき」としている。以前から高速道路の廃止は一部では言われていたが、政策決定に影響を与えたのは、七月の43号線公害の最高裁判決で、道路づくりのあり方

表・草地賢一の各氏である。

市民が横に繋が るための土壌

地震以前、市民が大きなまとまりをいくという事は非常に困難であった。立場の違いを越えることができなかったため、右か左か、あるいは政党・宗教組織の流れ、住民の立場に立つと

の「アピール」に名前を列ねることは、最近では極めて異例のこと。アピールは「復興の基盤は、被災者の生活再建である」として、「このために国・自治体の全面的な個人保障を含めた援助が必要」として、中央にアピールしていただくことで全国的な共感を獲得していくしかないだろう。

破壊され新たなものが作られつつあるという胎動期といえるだろう。その意味ではうまくいけば日本の行政・経済・社会・地域のシステムを根底から変えるきっかけになりうるし、そのためのエネルギーが被災地から生まれる場合もありうる。

困難な所ほど住民は力を 蓄え強くなっている

昨年三月、行政は「復興計画」を発表し、旧態依然たる開発行政を進めようとしているが、住民が合意せず抵抗を続ければ再開発事業は前に進めない。

神戸市東灘区の森南地区(重点開発指定地域)では、市が当初の計画決定した中身を大幅に変更

する案を提示し、事実上敗北した。他の地域でも市の計画が順調に進んでいる所の方が少ないといえる。被災地の住民は、地元に残る人が少ないなかで結束し、街づくりの勉強をし、具体案を作っているというところがある。

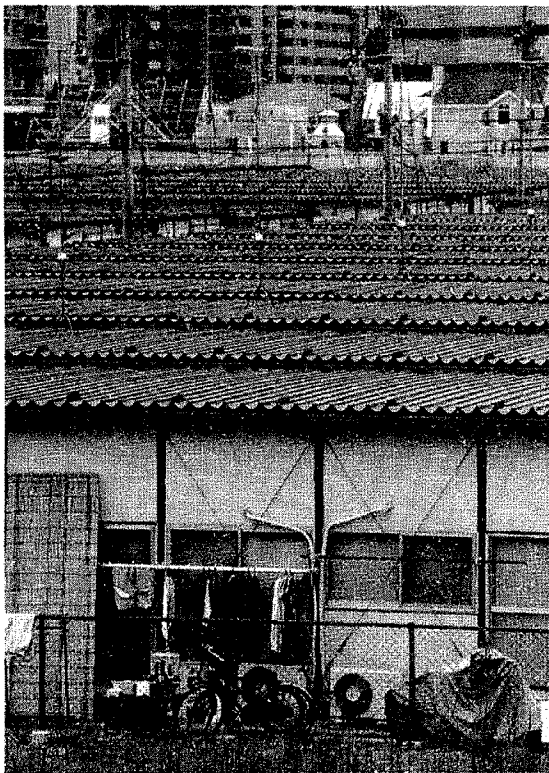
生活の再建をはかりつつで

あるから、たいへんな困難を伴っている。しかし、市民運動・住民運動は、困難な所ほど力を貯えて強くなっている。ぎりぎりまで追い込まれていったところで初めてやる気のある住民が生まれ、組織が作られてきているのである。

地震では幸い通常では考えられない形で専門家たちが集まってきた。神戸

でも多くの地域で住民組織が生まれ急速に力をつけてきている。これを見るかぎりむしろ好機到来とも言える。確かにそれは一面的な見方である。しかし、厳しい状況こそが新しい変革のエネルギーを生み出してきたという歴史的法則からすれば悲観する必要はない。

まさに「天下大乱、好機到来」といえる。



天下大乱好机到来

A black and white photograph capturing the aftermath of a disaster. The foreground is dominated by a massive, chaotic pile of rubble, including twisted metal, broken wood, and debris. In the background, a large, multi-story building is under construction, its steel framework visible. To the right, a smaller building with a dome is partially visible. The scene is desolate and shows the scale of the destruction.

神戸では、今回「震災復興」といえば金がとりやすいということ、空港建設から、地下鉄・海の埋め立てまで震災復興計画のなかに入っている。震災地ではすべてが

奥尻の十倍近い義援金が寄せられた。その意味では決して義援金が少なかつたわけではない。ところが、神戸の震災ではあまりに被災者数が大きすぎたために生活再建がままならない状況だ。

義援金の配分に問題がないわけではないが、そんな話はいわば重箱の隅

を突つつくような話になつてしまふ。義援金のすべてが被災者の生活再建のために配分されたとしても全く不十分なの

再建は不可能といえる。
そうすると、これほど大規模な災害の場合はやはり公的な資金を投入して被災者救済を実現していくしかあるまい。

神戸でも

復旧・復興について
は、個人の生活再建、住
宅再建、産業基盤の再建
など様々な領域があつ
た。

しかし実際は、産業基
盤・インフラの再建が最
優先された。阪神高速が

行政の復興計画は、震災以前の計画の焼き直しではないから駄目だというのではない。震災で出てきた問題を教訓として取り入れた計画に

今年十月に全面開通。また鉄道・神戸港の復旧などは驚異的なスピードである。確かにほったらかしていい領域ではない。

なっていないとことにむ
しろ大きな問題がある。
震災で戦後五十年間の
街づくりの欠点がすべて
あらわになった。ところ
がその反省が見られない
のだ。

真っ暗という場所が、小さい神戸という街のなかで同居している。地球規模での南北問題のようなことが神戸でも見られるといえよう。しかもそのことについて一顧だにさ

問題である。

しかし一年後の現在、
地域的に見ても地震の爪
痕などみじんも見られな
いような地域がある一
方、全く手つかずでお先

して、被災者の生活や人権を守るために投じられたお金があまりにもお粗末であったことは否みようのない事実である。

が必要

このことを最初に
いったのが、関西経営
者協会の三好会長であつ
た。震災後の三月、彼は
「三兆円の資金を用意し
て個人救済すべきだ」と
提案している。「三兆円
の金があれば奥尻・島原
なみの個人住宅の再建・
補償ができる。しかも日

本^{ほん}の^の経済^{けいぎ}力^{りき}からすれば大^{だい}した^{した}金^{かね}ではないはずだ^だというのである。

あれから八^{はち}カ月^{げつ}以上^{いじょう}経^へって「住^す専^{せん}処^{ちよ}理^りに六^む八^{はち}〇〇億^{いっぴやく}円^{えん}の税^{ぜい}金^{きん}を使^{つか}うの^のであれ^ばば震^{しん}災^{さい}復^{ふく}興^{こう}に使^{つか}うべきだ^だ」という議^ぎ論^{ろん}が交^かわされてい^いるが、そ^そんな

話は震災直後からあったのだ。

行政は、一二月に被災地の医療費、個人負担分の国庫負担という救済措置を打ち切った。これによつて医者にいかれず死んでいく人が増えるだろうといわれている。医療

行政は被災地区の実態調査から始めよ

行政は「全体的に大変だ！大変だ！」といっているが、大変なら打つべき対策とその手順というのがちゃんとある。

被災者四〇万人というのは確かに大変な数だ。

員会を組織し、建築家ポランティアが協力して自分たちで実態調査を行ない、再建案を作り上げてきた。エリアを限定すればしつかりした実態調査と対策は出てくる。

しかし一方で、神戸市な
ら二万人の職員がいるの
も事実だ。だから長田区
なら長田の重点地区に職
員を配置して支援体制を

行政も、地区ごとに順番に手懸けていけば次第に全容は明らかになるはずである。住民が自力でやれていることを行政が

用可能なノウハウも蓄積される。

生命の

興地域は災害に強いまち

家

づくりを進める必要のある震災復興促進地域の二

生命操作はいま●王
える●福本英子 脳死

割にすぎない。しかし残りの八割は「自力再建地

決定権」の実像と消
う商品と市場につ

「区」だ。はつきりいえば、手付かずといつていい状態だ。

小特集●現代の想像力

態である。そんな中でも例え、東灘区の魚崎で

若者と違和感承知
信 どうする長野才

は、住居がまわりのくどくどと

改めて日米安保体
理論交流」国際マル

Public Works

没一〇〇年学会●的
の現住所／高銀・崔元

治学研究】自由主義

**FOR**

1

フオーラ△90s 番164 東京
Tel.03-3367-0943 Fax. 03-

0円(年間10000円)

倫理とロジック

啓祐 遺伝子治療を考
臓器移植と「死の自己
源」小松美彦 生命とい
て池田清彦 「生命倫
理」の胡散臭さ●紫合薫弘

オウム問題・リアリテ
ヨン●竹内忍+吉田一樹
付き合いたい●柳山英
ミンピック●森宏徳

を撃つ●山川曉夫「国際
ス会議とエンゲルス
昭弘 韓民族文学論
伊藤成彦●瀧澤秀樹「政
諸問題」岡本仁宏

できていないというのは
怠慢としか言いようがな
い。

いずれにせよ震災後一
年経って、未だに避難所
暮らしを強いられている
人々の存在、各地で生ま
れ急速に成長しつつある
住民組織、そしてこれら
をバックアップする専門
家の協力体制がこの一年
の間に作られてきた。

被災地神戸を「先導的
都市」「神戸」に生まれ変
わらせるためにも、今を
「天下大乱 好機到来」
と捉えたい。

や福祉など本当に困つて
いる人々のケアが完全に
ボランティアの力に依存
せざるをえないという状
況が今だに続いている。

刊フォーラム

uma

中野区東中野1-41-5 文学会館
027-7367 発売●社会評論社

今年は判決の年 勝利をめざして 関西氏名札裁判 連絡会

郵政当局の強権的労務政策は、ますます強化されていくが、職場闘争は自立・自衛の取り組みが展開しています。全通

結成二〇周年を 迎えます 福岡地区合同 労働組合

開春
昨年は、年末に寺町クリニク、九州モーター

リニク、九州モーターが、職場復帰を勝ち取ることができました。これ

もひとえに皆様のご支援のおかげと感謝していま

反差別・反権力 非暴力・平和 和歌山・宮森 幹男

遠藤誠著『今の寺に仏教はない』から引用させて頂くならば、(仏教の本願とは絶対平等と不殺生である) ゆえに差別と偏見の社会・権力と闘い、自衛隊の海外派遣という人殺しを阻止する為に生きて行くことあります。

私もこの反差別と反権力と非暴力・平和の理念



の労使協調(ゆ着)路線への批判は多くの組合員が語るようになりまし

た。「氏名札」の着用強制に反対して、裁判闘争をすすめてきましたが、

今年は判決の年です。勝利を手にしたいと六

七名の原告は思っています。今年もよろしく!

NTT合理化と 闘い抜く 仙台・電気通信 産業労働組合

開春
旧年中はたいへんお世話になりました。心から感謝を申し上げます。

今年、自衛隊の海外派兵反対の闘い、反安

保、改憲阻止、原発、自然破壊に反対する闘

いを、NTT合理化に反対して全力で闘い抜きたい

と思います。

人権労働運動を 力いっぱい 労働組合 東京ユニオン

謹賀新年
こそ仏教の本願である

と思います。

ゆえに『不殺生の心』

を破りアジアの人々を侵略殺生・非道の限りを

犯した日本の天皇制軍国主義と日本人と我々自身を

悔い謝罪し、『差別』『殺生』の根源である

『天皇制』と国際貢献の名を借りた自衛隊の『海

外派遣』に断固反対し、『不殺生』の理念である

に生きて行くことあります。

一九九六年も東京ユニオンは、力いっぱい「人権労働運動」に取り組みます。本年もご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

労働者の気魄が 足りない! 京都・労働者経済 研究所

開春
あけましておめでどう

ございます。

「不良債権は三七兆円。世界の土地が全て買える

と計算された日本経済も今や青息吐息。そのつけ

を労働者に押しつけるのを許せないのはわかって

いるが、労働者の気魄が足りないからね」(労働者経済研究所)

「村山社会政権も三年目。もった理由は内実が

自民党政権というののもっともだが、革新派も

御指導、御鞭撻をお願い

します。

ユーマを 戦力として 東京・桂 太朗

『憲法9条』を守り、世界に真実の平和の実現を今年も祈るものでありま

す。

囚屋暮らしが 恋しくて 大阪・飯田 篤郎

謹賀新年
慣れたるや

囚屋暮らしが恋しくて(笑)

モアを戦力として。

民衆の世界を拓 く年に 女川原発差し止め 訴訟原告団

恭賀新年
昨年は、長い民衆の苦闘の中で権力に向けた世

界の民衆の怒りが一気に爆発した年でした。

本年は、この闘いを更に強め、全権力の息の根

を止め、民衆の世界を拓く年にしたいと思いま

す。

私達も原発で、闘う世界民衆と連帯し闘う決意です。本年も指導の

程を。

今年も大波小波 かきわけて ピースボート A HAPPY NEW YEAR

旧年中はたいへんお世話になりました。

ピースボートは、今年もアジアで、地中海で、

アフリカで、中米で世界の

人々とネットワークする

船旅をつくつていき

ます。(詳細は後日発表)

国内でも、ハイブリッ

トな連続ゼミナールを2

月3日から開講(参加者

と願っています。

いよいよ決着の 年となるか 大拘・山野 静二郎

平和祈念
核・戦争・飢餓・殺人・死刑・貧困・差別・

等が世界中から消滅し、真の平和と人権、そして

自然が尊重される地球社会となりまう様に――

昨年の御支援と御協力

う!

意外と既成概念に毒されて進取な気持が欠けているのではないか」(在野政治を結集させる会)

「マスコミが本場のことを言っていないとは、従来よく言われることだ

し、確かに思いあたることとはよくある。が、その

代わりには本場のことを言っているのは何となる

と、大声が出なくなる。御高説を言葉から行動に

すすめる血のじむような努力が大切なことがわ

かっているのかね」(京都市民・労働者情報セン

ター)

初夢 夢も見れ なかった! 日本人 (東京・タロー)

初夢
夢も見れなかった!

日本人

(東京・タロー)

初夢
夢も見れなかった!

日本人

(東京・タロー)

初夢
夢も見れなかった!

日本人

(東京・タロー)

初夢
夢も見れなかった!

日本人

(東京・タロー)

初夢
夢も見れなかった!

日本人

(東京・タロー)

初夢
夢も見れなかった!

生涯闘争で頑張 ります 東拘・丸岡 修

恭賀新年!
自身も社会も現状を否定

します。

「もんじゅ」トラブルで

オウム・創価学会記事

追求、よかつたと思いま

す。

「もんじゅ」トラブルで

オウム・創価学会記事

追求、よかつたと思いま

す。

「もんじゅ」トラブルで

オウム・創価学会記事

追求、よかつたと思いま

す。

「もんじゅ」トラブルで

オウム・創価学会記事

追求、よかつたと思いま

す。

「もんじゅ」トラブルで

オウム・創価学会記事

追求、よかつたと思いま

す。

「もんじゅ」トラブルで

オウム・創価学会記事

民衆の世界を拓 く年に 女川原発差し止め 訴訟原告団

恭賀新年
昨年は、長い民衆の苦闘の中で権力に向けた世

界の民衆の怒りが一気に爆発した年でした。

本年は、この闘いを更に強め、全権力の息の根

を止め、民衆の世界を拓く年にしたいと思いま

す。

私達も原発で、闘う世界民衆と連帯し闘う決意です。本年も指導の

程を。

共に、更なる 前進の年に 日本赤軍

謹賀新年
皆様の健康と、新たな

年の健康を心から希望し

ます。

私達は、一九九六年の闘いを流動化が激しさを

増す政治社会状況としてとらえ返しつつ、自己批判闘争の発揚として担い

抜く覚悟でいます。

皆様には、昨年に引き

続き今年も、私達のいろ

いろの未熟さといえ無

さを批判援助して頂き

たいと願っています。

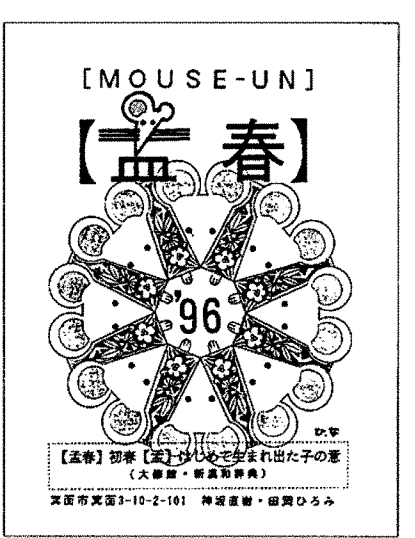
友好・連帯の 更なる発展を 関西人道帰国の会 高槻日朝連帯を めざす会

朝鮮民主主義人民共和

国と、そして、朝鮮人民

との友好・連帯活動の更

なる発展をめざして共に闘いましょう。



情報ひろば

時9時/講師 青木紀代美(食べ物から歩き出す会)/東京・生活産業プラザ(池袋)/連絡: 03-3954-1575 (小嶋)

▼緊急集会「あつめようみんなの声 大切な渡良瀬遊水池―第二貯水池建設の危機に對して」

1月21日(日)午前9時45分午後0時15分/渡良瀬遊水池の自然、遊水池に生きる、渡良瀬遊水池はこれからどうあるべきか、他/栃木・野木町文化会館(野木町)/連絡: 0282-2311078 (猿山・夜間)

▼均等法一〇年目の決算「おんなたちの異議あり!」

1月21日(日)午後1時半〜4時15分/ミューザカル(新座・ハンサムウーマン)/パネルディスカッション/バートアルバートの職場から賃金格差の実態と問題点、紛争処理システムの問題点と改革・就職差別から見えたこと、世界女性会議の行動綱領は均等法改正にどんな影響を与えられ

るか/東京ウイメンズブラザ(地下鉄表参道)/一〇〇〇円/連絡: 03-3251-4478 (働く女性のための弁護団)

▼食の国際化・輸入食物の現状―主婦の立場から食べ物への国際化を考えてみる

1月25日(木)午後6時〜7時/連絡: 21937-4817 (中部よつ葉会)

▼福岡部落史研究会第七三回定例研究会

2月2日(金)午後2時〜/「史実に基づいて

故から一〇年・講演会

1月29日(月)午前10

時〜/「史実に基づいて

故から一〇年・講演会

1月29日(月)午前10

時〜/「史実に基づいて

故から一〇年・講演会

1月29日(月)午前10

時〜/「史実に基づいて

故から一〇年・講演会

1月29日(月)午前10

時〜/「史実に基づいて

故から一〇年・講演会

1月29日(月)午前10

賀 笑

旧年中は大変お世話になりました。御高配、御厚情等々、厚く御礼申し上げます。今年ね年、良い事がねずみ算式に増えるような年にしたいものと思います。よろしくお願い致します。

乱鬼龍・ウメ星ひかる

初夢
分裂、破産……
社会党
新進党
動燃

96大予測
本当のことは
とても言えませ
ん……
古い師

社 説

強いられた「関係」を捉え返し
人々の怒りと切り結ぶ中から

直ちに解散・総選
挙を実施せよ！

正月気分も覚めやらぬ一月五日、村山が首相の座を突然投げ出して、混迷の九六年がスタートした。

誰もが「突然」とは思ったものの、同時に「当然」とも思っていた。既に「死に体」となっていた村山政権ではあったが、それにしても、資本家サイドからの「自民党でもやれなかつたことをやりになった立派な首相」との「お誉め」の言葉こそ、戦後二度目、そして最後の

幻想を捨てよと初日真紅なる謹賀新年飢餓新年を知ってるか正月のテレビ陳腐にめだがり激動が破局かね年まつしぐらジャンボくじ当たった人がいるらしい初日の出もんじゅの嘘へ容赦なし官官は接待民はやつと食い防衛の大綱という地獄道もんじゅにはもはや明日なき年が明け明けましてはや閉めそうな党作り今年また神話崩れるものと知れ何よりも政治が寒く被災民サリンより無能政治はよく殺す初詣神も仏もない国ぞお年玉こも成長神話消えおせち料理価格破壊をみな集め大変な時代大変革と読む大予測矛盾の激化告げて充ちニッポンを討つ気はありや日本人闘争かたは逃走か疾風す激動へ諷刺はもう要らぬ

お年玉
『不良債権』の
ツケがまわって
きた
子ども銀行

「PL法」以後
『製造責任』を
問われている
受胎子の親
一同

ね年の計
悪政に
天チユーを
一世直しの声



人民新聞の告発
は大いに有意義

福岡・秋好 英明

恭賀新禧
輝かしい新春を心から
御よろこび申しあげま
す。

旧年中は常に変わりま
せぬ人民新聞の御恵送を
賜りまして誠に有難うご
さいました。

人民新聞の各号発表は大
いに有意義であり、危な
い世相に、些やかにで
も、驚嘆する強大な機と
なっていることは確かで
す。人民に正しい情報を
少しでも多く提供して下
さい。

もつと内容の
ある新聞に
兵庫・N

新聞の名称をかえたら
いかですか。もつと内
容のある新聞を作らない
と、読者はますます減る
と思います。阪神大災害
の被災者に何の配慮もな
いのは失望しました。

十一月十五日付け人民
新聞の(4)頁の(東京

カンパご協力
ありがとうございました

- T 一万円 * 神奈川 K 三万
円 * 大阪 O 二万円 * 大阪
Y 四万円 * 東京 K 五万円
* 山形 O 千円 * 大阪 W 三
千円 * 兵庫 K 千円 * 東京
T 七千円 * 京都 O 三千円
* 大阪 T 三万円 * 大阪 O
五千円 * 東京 I 三千円 *
東京 W 二万円 * 兵庫 K 三
千円 * 大阪 K 五万円 * 広
島 N 一万円 * 大阪 Y 一
円 * 埼玉 N 五千円 * 大阪
S 五千円 * 和歌山 M 一万
八千三百円 * 神奈川 I 二
千円 * 京都 N 七千円 * 高
知 T 四千円 * 大阪 K 七千
円 * 大阪 I 一万四千円 *
大阪 S 八千円 * 大阪 T 三
万円
- (小計) 七十六万一千三二
円
- (合計) 一三三万三二
円 (12月31日現在)



知らしむべからず
依らしむべし

直ちに解散・総選挙を行うべきである。

無難、野合は連立側だけでは
ない。昨年末、小沢一郎を党首
に据えた新進党も同様。小沢に
対抗した羽田が細川らと組んで
党内野党を旗揚げ、旧公明党グ
ループも一、一の確執や宗教法
人法改正時の対応をめぐって不
平が充満、といつ分裂してもお
かしくないのが実態。

政策的にも何ら異なるところ
のない野合と野合とが、政界再
編と称して右往左往を繰り返
す。日本の政党は今年もまた
深い腐敗と混迷の中を漂流する
ことになるだろう。

そして更に、腐敗と混迷は政
党だけではない。自らの利権し
か眼中になく、癒着・汚職に
どっぷりと浸かる官僚もまた然
り。まさに日本の支配体制その
ものが構造疲労を起し、膿み
崩れているのだ。

にもかかわらず腹立たしいこ
とに、理念も展望も喪失した政
治家や官僚共が、だからこそ決
して手放そうとしない原則があ
る。それは、徹底した大衆蔑視
に基づく「知らしむべからず、
依らしむべし」との支配の論理
である。この間、政治的・社会
的に大きな問題となった数々の
問題——オウムへの破防法適
用、住専への公的資金導入、
「もんじゅ」事故、少女への暴
行に端を発した「神純問題」、
等々——に通底するのは、混迷
から生じる矛盾を、一切の情報
を公開しないまま、ドサクサ紛

再び新たな混沌と
激動の中へ

言葉や理念としてだけではな
い。その問いかけは人々の具体
的な闘い、要求として発せられ
てもいる。

「従軍慰安婦」の人々の戦争謝
罪・補償要求、フランスの核実
験に対するタヒチの人々の決
起、沖縄や福島の県ぐるみの闘
い。それは、他人や他国の一方
的な犠牲の上にのみ成り立って
きた歪んだ「繁栄」を撃つ、直
接的かつ至極当然な怒りの声で
ある。

一九九六年、一層激化するで
あろう矛盾の中で、人々の怒り
や闘いは深く拡がって行く。資
本主義にその解決策も能力も本
来的に無いのは自明の理。が、
既成社会主義の崩壊以降、左翼
勢力もまた深い混迷の中にあ
る。未来への展望は、強いられ
た「関係」を自身の個と個の開
係にまでさかのって捉え返し、
こうした人々の怒りと切り結ん
で行く長期的な闘いの中からし
か創り得ない。

再び三度、新たな混沌と激動
の中へ、世界の人民・同志たち
と、共に！

関西

- 時午後3時/「地震と
原発・高レベル廃棄物」
広瀬隆、「東濃(瑞浪
市)に核のゴミが？」
「チエルノブイリ現地報
告」河田昌東/名古屋・
中小企業センター(名鉄
名古屋) 連絡・05
- 府立青少年会館(森ノ
宮) 連絡・06-136
4-0123 (中北法律
事務所)
- ▼木村充輝(憂歌団ボー
カル)コンサート
2月2日(金)午後6
時半/八尾プリズム
ホール(近鉄八尾)/前
売一八〇〇円/当日二〇
〇〇円/「障害」者介護
セット割引二七〇〇円・
小学生半額/連絡・0
729-617276
- ▼関西労働者安全セン
ター安全衛生・労働職業
病講座
2月2日(金)午後6
時半/「腰痛予防の
実践」アメリカの腰痛対
策の現状/宇土博(広島
大学公衆衛生学教室講
師)/アビオ大阪(森ノ
宮)/二二〇〇円/連
絡・06-943-115
27
- ▼2・7「北方領土の
日」反対/アイヌ民族連
帯大阪集会
2月7日(水)午後6
時半/講師/長谷川修
(アイヌ解放同盟・山
梨)/エルおおさか(天
満橋)/八〇〇円/連
絡・06-304-184
31(労働者共闘)
- 時午後3時/「地震と
原発・高レベル廃棄物」
広瀬隆、「東濃(瑞浪
市)に核のゴミが？」
「チエルノブイリ現地報
告」河田昌東/名古屋・
中小企業センター(名鉄
名古屋) 連絡・05
- 府立青少年会館(森ノ
宮) 連絡・06-136
4-0123 (中北法律
事務所)
- ▼木村充輝(憂歌団ボー
カル)コンサート
2月2日(金)午後6
時半/八尾プリズム
ホール(近鉄八尾)/前
売一八〇〇円/当日二〇
〇〇円/「障害」者介護
セット割引二七〇〇円・
小学生半額/連絡・0
729-617276
- ▼関西労働者安全セン
ター安全衛生・労働職業
病講座
2月2日(金)午後6
時半/「腰痛予防の
実践」アメリカの腰痛対
策の現状/宇土博(広島
大学公衆衛生学教室講
師)/アビオ大阪(森ノ
宮)/二二〇〇円/連
絡・06-943-115
27
- ▼2・7「北方領土の
日」反対/アイヌ民族連
帯大阪集会
2月7日(水)午後6
時半/講師/長谷川修
(アイヌ解放同盟・山
梨)/エルおおさか(天
満橋)/八〇〇円/連
絡・06-304-184
31(労働者共闘)
- 時午後3時/「地震と
原発・高レベル廃棄物」
広瀬隆、「東濃(瑞浪
市)に核のゴミが？」
「チエルノブイリ現地報
告」河田昌東/名古屋・
中小企業センター(名鉄
名古屋) 連絡・05
- 府立青少年会館(森ノ
宮) 連絡・06-136
4-0123 (中北法律
事務所)
- ▼木村充輝(憂歌団ボー
カル)コンサート
2月2日(金)午後6
時半/八尾プリズム
ホール(近鉄八尾)/前
売一八〇〇円/当日二〇
〇〇円/「障害」者介護
セット割引二七〇〇円・
小学生半額/連絡・0
729-617276
- ▼関西労働者安全セン
ター安全衛生・労働職業
病講座
2月2日(金)午後6
時半/「腰痛予防の
実践」アメリカの腰痛対
策の現状/宇土博(広島
大学公衆衛生学教室講
師)/アビオ大阪(森ノ
宮)/二二〇〇円/連
絡・06-943-115
27
- ▼2・7「北方領土の
日」反対/アイヌ民族連
帯大阪集会
2月7日(水)午後6
時半/講師/長谷川修
(アイヌ解放同盟・山
梨)/エルおおさか(天
満橋)/八〇〇円/連
絡・06-304-184
31(労働者共闘)





一九九六年となった。のつけから大上段の話となるが、一九九六年は、後に、日本が第二の(第一は勿論、かつての軍国主義とその敗戦)破局に向かって、具体的な歩みを開始した年として記録されるであろう。右翼社会主義者という言葉がびつたりと村山政権が、まさに「右翼社会主義者」への道を掃き清める」というマルクス主義の指摘と並び、第二の日本ファシズムへの道を準備した。①自衛隊の日常的海外派兵。

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

ではこの大混乱の中から、鎌倉の革命政権(実際あれは古代王制に対する武家政権であり、初めは京都と対抗する二重権力の臨時政府として出発した)をどのように生み出すのか。

今はまだ、かつての平家が武士出身でありながら出身階級を裏切り貴族化したのさばっていたように、右翼社会主義の「社会党」のさばり、「共産党」が無能にわめいていて、ただでさえ、革命派は散り散りになり沈黙している。

しかしこんな状態をい

破局の中で楽天的に着実に
かつ未来のことを忘れずに

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

ではこの大混乱の中から、鎌倉の革命政権(実際あれは古代王制に対する武家政権であり、初めは京都と対抗する二重権力の臨時政府として出発した)をどのように生み出すのか。

今はまだ、かつての平家が武士出身でありながら出身階級を裏切り貴族化したのさばっていたように、右翼社会主義の「社会党」のさばり、「共産党」が無能にわめいていて、ただでさえ、革命派は散り散りになり沈黙している。

しかしこんな状態をい

オウム報道の隠された「闇」に迫る

《番外編》下里正樹著『オウムの黒い霧』

昨年、「オウム報道の隠された「闇」に迫る」として、統一教会とオウムとのつながりの一端を明らかにした。その後の推移を見ると、オウムの「闇」は解明されるどころか、個々の事件の裁判をめぐるやりとりで完全に限定されてしまった。破防法発

動・自らの権益強化という最大の成果を手にしてほくそえむ公安の筋書き通り、と言える。

本紙では今後も入手した全ての情報を暴露、公安の世論・報道操作に反撃していくつもりだが、今号では《番外編》として、連載でも一部を紹介した下里正樹著『オウムの黒い霧』(双葉社刊)から。

時評 ● 短評 ● 私の直言 ●

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

ではこの大混乱の中から、鎌倉の革命政権(実際あれは古代王制に対する武家政権であり、初めは京都と対抗する二重権力の臨時政府として出発した)をどのように生み出すのか。

今はまだ、かつての平家が武士出身でありながら出身階級を裏切り貴族化したのさばっていたように、右翼社会主義の「社会党」のさばり、「共産党」が無能にわめいていて、ただでさえ、革命派は散り散りになり沈黙している。

破局の中で楽天的に着実に かつ未来のことを忘れずに

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

ではこの大混乱の中から、鎌倉の革命政権(実際あれは古代王制に対する武家政権であり、初めは京都と対抗する二重権力の臨時政府として出発した)をどのように生み出すのか。

今はまだ、かつての平家が武士出身でありながら出身階級を裏切り貴族化したのさばっていたように、右翼社会主義の「社会党」のさばり、「共産党」が無能にわめいていて、ただでさえ、革命派は散り散りになり沈黙している。

オウムの黒い霧

昨年、「オウム報道の隠された「闇」に迫る」として、統一教会とオウムとのつながりの一端を明らかにした。その後の推移を見ると、オウムの「闇」は解明されるどころか、個々の事件の裁判をめぐるやりとりで完全に限定されてしまった。破防法発

動・自らの権益強化という最大の成果を手にしてほくそえむ公安の筋書き通り、と言える。

本紙では今後も入手した全ての情報を暴露、公安の世論・報道操作に反撃していくつもりだが、今号では《番外編》として、連載でも一部を紹介した下里正樹著『オウムの黒い霧』(双葉社刊)から。

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

サリン事件は本当に オウムの単独犯か?

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

ではこの大混乱の中から、鎌倉の革命政権(実際あれは古代王制に対する武家政権であり、初めは京都と対抗する二重権力の臨時政府として出発した)をどのように生み出すのか。

今はまだ、かつての平家が武士出身でありながら出身階級を裏切り貴族化したのさばっていたように、右翼社会主義の「社会党」のさばり、「共産党」が無能にわめいていて、ただでさえ、革命派は散り散りになり沈黙している。



十二月二日、またしても死刑執行が行われ続けた。東拘の篠原徳次郎さん、名拘の木村修治さん、福拘の平田直人さん、三人です。平田さんは四度目の再審請求を準備中、木村修治さんは死刑判決の誤りを正すための「恩赦」を請求中であり、名古屋拘置所による手記出版妨害に対して民事裁判を提訴中の、無念極まりない執行でした。

彼らの声になんら向き合うことなく、ただ死刑制度の存置のためだけに執行を強行した政府と宮沢法務大臣に強い抗議を表明します。

死刑廃止を求める市民の声明

制度存置のためだけに執行を強行した
政府・法務大臣に強く抗議する!!

「制度があるから執行する」、これが政府のただ一つの言い分です。しかし、現在世界九十八カ国が死刑廃止国となり、存置国の数を超えた現状をみれば、その姿勢がいかに遅れたものであるか明かです。それぞれの国が、国情の違いはあれ、「死刑」を単に刑罰制度の問題としてではなく、

基本設計図をどこから入手したのか? 金融機関が融資の担保として押さえた設計図がマハボーシヤに渡り、格安のコンピュータ製品となった可能性が高い。オウムが台湾に設置していた「大繁栄有限公司」はその部品調達拠点であり、同時に武器密輸ルート拠点だった。マハボーシヤ買付付けのコンピュータ部品は、香港、韓国からさらにウラジオストク、北朝鮮に密輸され、オウムは、その見返りに武器を受け取る暗黒の武器密輸ビジネスに乗り出していた。

もつと多く、その中には警察が内偵のために送り込んだスパイが数多く含まれている。

間に行われた殺人で、捜査当局は「少なくとも二〇人余が消された」とにらんでいる。が、実際は

金融機関がオウムの スポンサーを

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

地下鉄サリン事件は 公安のやらせ?

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

サリン事件は本当に オウムの単独犯か?

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

地下鉄サリン事件は 公安のやらせ?

そのものである。住専処理で農協系金融機関を税をつぎ込んで救済するといふのは、この代官どもが、保守二大政党のたらいまわし政権となるのか、合同大保守による翼

を通じて、「大本営発表」式の情報操作の予行演習もやっとなし、シヤニム二つに進むだろう。しかし、マルクスが言うように、「歴史は繰り返す。一度目は悲劇として、二度目は茶番として」である。金融機関の動揺はもつと出てくるし、経済矛盾を土台に日米の対立はもつと激化する。アジア諸国がこれだけ力をつけた中では、アジア市場をブロック化して日本が甘い汁を吸うのも困難で、また、かつての国内矛盾を転化するべく海外侵略をねらっても、そもそも不可能である。法則的に帝国主義を目指しても、独占資本の側は、実際のところ中期的にみれば八方ふさがりなのである。そして、動きはじめた日本列島を大災害が連続して見舞う。平安時代末期のような破局へ向かって進まざるを得ない。九六年はその一年目である。

判決を避けられず、それによつて死刑執行がなされたと、決定的に取り返しがつかないこと。